

鳥海山 豆知識 不自然な県境の理由

鳥海山は、秋田と山形にまたがる山として知られます。国土地理院の地形図で鳥海山付近を見ると、地形図を見慣れた人はその県境の不自然さに気がつくかと思います。日本の県境のほとんどは山の稜線や、川など地形にそうようにして定められています。しかし、秋田と山形の県境は鳥海山付近では、急に直線になり山形が秋田側に食い込んだ形で鳥海山の7合目付近から直線で引かれています。

なぜでしょうか。発端は鳥海山をめぐる信仰の歴史にあります。



鳥海山において信仰の歴史は、記録が残るものでは古代、大和朝廷が、蝦夷の反乱の兆しをその噴火活動に占い、これを鎮めるため大物忌神を祀り崇めたことから始まります。

やがて南北朝の頃から修験の場となり現在の山形側や秋田側に、いくつかの修験道が発達します。それぞれの修験道は、当山派と本山派の二派に分かれ、山頂をめぐる争いが起こるようになりました。

現在秋田県
県境が不自然な形となったのは、江戸時代、矢島口の修験者と山形の蕨岡の修験者間による山頂争いを機に、矢島藩と庄内藩の領土問題にまで発展しこれを重く見た奉行が、現地に赴き検地を行った結果定めたことによります。これが果たして公平なものだったのかは知る由もありませんが、かたや一萬石にも満たない矢島藩と、14万石の大名である庄内藩の争いです。力の差が大き過ぎたのかもしれませんが。



針立コース途中にある県境

鳥海山 豆知識 この山で 出会いたい花

◎オクキタアザミ
 一見アザミのようだが、実はトウヒレン科の花。発見当時は鳥海山の固有種と考えられたがのち焼石岳、羽後朝日岳などで見つかった。
 花期：7月～8月。



◎チョウカイフスマ
 鳥海山の固有種。栄養の少ない岩場や砂礫地に咲く。康新道や、外輪山で見ることができる。
 花期：7月～8月



◎チョウカイアザミ
 鳥海山固有の大型のアザミ。アザミの語源は、トゲトゲに驚くので「驚く＝あさむ」が転訛した説や、「欺く＝アザミ」に転訛した等諸説。



◎イワブクロ
 高山の砂礫地に生え、特に火山に多く見られる。岩地で袋状の花が咲くので「岩袋」。現在、南限は鳥海山付近となっている。外輪山で見ることができる。



鳥海湖周辺のニッコウキスゲ群落

東北の山のしおり 象潟コースから新山 鳥海山



© 登山ガイド企画 YAMABIYORI

鳥海山ってこんな山

千蛇谷から新山を展望

秋田県と山形県の県境にあり、山頂は山形県に属します。日本海から2236メートルの山体を起立させる独立峰。このため晴れた早朝には、大きな三角の山影が日本海に大きく投影され「影鳥海」と呼ばれるダイナミックな奇観を見ることができます。

東北では燧ヶ岳に次いで第二位の標高で、その秀麗な姿は「出羽富士」「秋田富士」と呼ばれてきました。

多雪と強風による厳しい環境は、同時に多くの高山植物の楽園でもあります。



新山から見た影鳥海

ばりこの週末山歩き：登山ガイド企画YAMABIYORI



鳥海山は何歳？

鳥海山は約60万年前に火山活動が始まった複合火山。その山体は、ざっくり分けると東鳥海山と西鳥海山のふたつからできています。

先に西鳥海の火山活動がはじまり鍋森や観音森ができました。現在の最高峰である新山を含むのが東鳥海です。東鳥海は約1万年ほど前から火山活動が活発になり、紀元前466年に山体崩壊を起こしました。この噴火によって流れ出した土砂岩石は、現在の仁賀保から象潟の海岸までを覆い尽くし日本海にまで流れ込みました。松島と並ぶ景勝地として、かの松尾芭蕉も感嘆した象潟の九十九島は、このときにできた景観です。

2236mの最高峰、新山の誕生はごく最近の1801年。この地震で名勝象潟の地盤は隆起し、美しい九十九島の潟の景色が失われました。鳥海山は今なお活動期にある火山です。直近の噴火は1974年で、新山付近と荒神ヶ岳で水蒸気噴火が起っています。

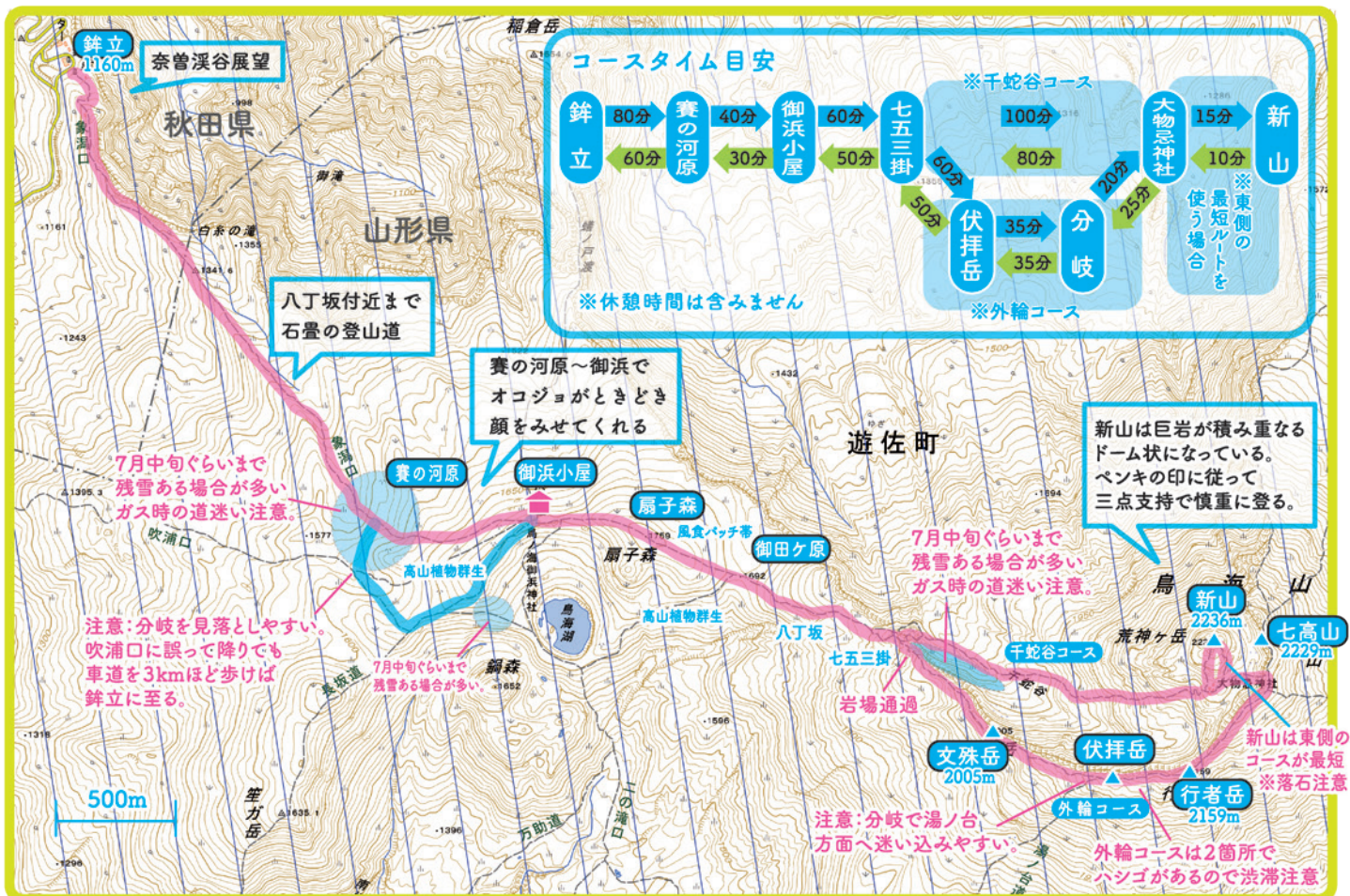


雪と風がデザインする鳥海山の景色

七合目の御浜から扇子森を越え、御田ヶ原に向かうと登山道の両脇にはまだらに裸地が現れ、チングルマやハクサンイチゲ、アオノツガザクラなど高山植物が群落を作っています。

この裸地は風食パッチなどと呼ばれる、日本の山ならではの光景です。

日本の山は世界有数の多雪で、しかもこの標高の山地にしては世界一の強風にさらされます。風食



は、そんな強風によって植物が地表から剥ぎ取られてできたものです。一見無残な荒地にも見えますが、鳥海山の多彩な花の景色があるのには、こうした風食の存在が一役買っています。本来ならば、背の高い草原で覆われている地表に、風食パッチがあることでハクサンイチゲやチングルマなど



風食パッチに咲く花々

高山植物がはいりこむことが可能になるのです。こうした裸地では植物の遷移が起こりますので、段階的に多様な植物が入り込み、覚えきれないほどの花が鳥海山の夏を彩ることになります。



御田ヶ原の風食パッチ

ばりこの登山ガイドオリジナル登山リーフレットご利用の方へ

このたびは当ガイドオリジナルリーフレットをダウンロードいただき誠にありがとうございます。
ご利用方法を下記にご案内いたします。ご一読いただけますようお願いいたします。

プリントアウトの設定

用紙：A4横

レイアウト：両面&短辺とじ

縮小拡大：実際のサイズ

※「用紙サイズに合わせる」ではなく
実際のサイズで設定する。

折り方

三つ折りにしてご利用ください。



著作権について

文章および画像の無断転用等は禁止しております。
お問合せは下記メールアドレスまでお願いいたします。

barry@kiu.biglobe.ne.jp

やまびより
登山ガイド企画YAMABIYORI

鶴岡由起子



登山ガイド企画YAMABIYORI